

TOKYO FM 開局 55 周年×「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送 30 周年 九段下フォーク・フェスティバル' 25 開催！

特別番組『FM FESTIVEL 2025 桑田佳祐スペシャル企画!!

九段下フォーク・フェスティバル' 25』放送決定！

2025 年 11 月 3 日(月・祝)16 時～19 時 TOKYO FM/JFN38 局

TOKYO FM 開局55周年と「桑田佳祐のやさしい夜遊び」の放送30周年を記念して、桑田佳祐発案によるスペシャル・イベント『TOKYO FM 開局55周年×「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送30周年 九段下フォーク・フェスティバル' 25』が、本日10月12日(日)に日本武道館で開催されました。“出演・桑田佳祐 他ゲストあり”とだけ発表されていた中で迎えた公演当日。いざその幕が開けると、とてつもなく豪華な面々が次から次に登場し、九段下は大興奮に包まれ、満員となる9,000人の観客が熱狂しました。日本音楽史に残る伝説の一夜を最速レポートいたします！

さらに、本公演の模様の一部を特別番組『FM FESTIVEL 2025 桑田佳祐スペシャル企画!! 九段下フォーク・フェスティバル' 25』として、2025年11月3日(月・祝)16時～19時 TOKYO FMをはじめとするJFN全国38局ネットでオンエアすることが決定しました。



今年 3 月に、サザンオールスターズとして 10 年ぶりのオリジナル・アルバム『THANK YOU SO MUCH』をリリースし、13 箇所 26 公演の全国アリーナ & 5 大ドームツアー『LIVE TOUR 2025「THANK YOU SO MUCH!!」』を完走した桑田佳祐。デビューして 47 年を超えてもなお、止まることなく精力的に活動し続けていますが、どんな活動でも真っ先に本人の言葉を聞くことのできる場所として、音楽ファンから長年愛聴されているのが、レギュラーラジオ番組「桑田佳祐のやさしい夜遊び」。1995 年 4 月の放送開始以来、毎週土曜日 23 時から TOKYO FM はじめ JFN 38 局ネットで放送中の本番組も、ついに大台に突入し、今年 4 月に放送 30 周年を迎えました。TOKYO FM も今年 4 月に開局 55 周年を迎えたことから、「番組と局が大きな節目を迎えるにあたり、何か特別なイベントをやりませんか？」と、TOKYO FM から桑田に提案。賛同した桑田佳祐が「九段下フォーク・フェスティバル' 25」を企画発案し、一夜限りのスペシャル・イベントが、日本武道館で開催されることになりました。

2025 年 10 月 12 日

10 月 12 日(日)。台風一過で心地よい秋風が吹き抜けた東京で、ひときわ多くの人が集まり、異様な熱気を放っていたのが、「九段下駅」からほど近い日本武道館。今年 8 月に、桑田佳祐のレギュラーラジオ番組で「九段下フォーク・フェスティバル'25」の開催が突如発表されると、9,000 人のキャパシティに対して、たちまち数十倍の応募が殺到。“The・秋の文化祭(ミュージック・フェス)”と打ち出された本イベントは、洋邦問わずギター1 本持ち寄れば気軽に誰でも楽しめる“フォーク・ソング(大衆音楽)”への愛とリスペクトが込められています。特に注目を集めていたのは、桑田佳祐に加えて“他ゲストあり”と書かれていた一文。開演前から「もしかしたら？」という憶測が飛び交い、期待が熱気になり会場内は独特の緊張と興奮で包まれていました。

開演時刻になり、まずは唯一事前に発表されていた前座(=オープニングアクト)の田内洵也が呼び込まれました。田内は都内近郊のバーを拠点に“流し”として研鑽を重ねてきたシンガーソングライターで、2017 年にバーで田内と桑田佳祐が出会ったことをきっかけに、自身の楽曲「深川のアッコちゃん」を桑田が“夏螢介 a.k.a KUWATA KEISUKE”名義でプロデュース・編曲する流れになり、さらには本イベントの前座の大役を任せられたという、数奇な幸運を掴んだ男です。ギター一本で「深川のアッコちゃん」を弾き語りし、会場を惹き込みました。当該曲が CD シングルとして 11 月 19 日(水)に発売されることも紹介時に発表されました。



前座も終わり、司会の TOKYO FM パーソナリティ・住吉美紀がナレーションで開演を宣言し、いよいよ桑田佳祐が登場。日本フォークソング史の立役者である吉田拓郎の「今日までそして明日から」を歌唱しました。続けて披露した「明日へのマーチ」で、アコギを背負って歌う桑田佳祐と共に、長年桑田の活動を支える豪華なミュージシャン陣が極上の音楽を奏で、早くも会場は多幸感に包まれます。しかし、まだこれは序の口だったことは、ここからの流れで全員が知ることに…。



このイベントが“フォーク”イベントであることから、桑田がお客さんたちに向けて意味ありげに「今日、君はロックを聴かないんですよ」と突然言い出し、演奏が始まると出てきたのはなんと【あいみょん】！1 組目のシークレットゲスト・あいみょんが、自身の代表曲である「君はロックを聴かない」を披露。桑田がギター&コーラスとして後方を固め、その横で堂々と歌い上げるその姿は、今の日本の音楽シーンを代表する女性アーティストとしての風格で満ちていました。幼少の頃から父親が好きで聞いていたという浜田省吾の「悲しみは雪のように」をカバーし、桑田が大好きでリクエストしたというあいみょん自身の楽曲「偽者」、そして

ベッツィ&クリスの「白い色は恋人の色」を桑田とデュエットするなど、そもそも舞台上で共演するのが初の中、異例の共演に、観客は大興奮。

2025 年 10 月 12 日



サザンで大好きな曲と挙げる「慕情」をデュエット。この二人が揃って期待されるのは、桑田佳祐 & Mr.Children 名義で 1995 年にリリースされた「奇跡の地球(ほし)」。未だ J-POP シーンで燦然と輝き続ける名曲が、前置きなく 19 年ぶりに突然披露されるこの瞬間こそ“奇跡”です。



り、長く愛され続ける楽曲「花咲く旅路」を披露。桑田による日本語詞バージョンで歌ったボブ・ディランの名曲「風に吹かれて」は、この曲が発表されてから 60 年以上が経つ今も変わらず、混沌を極める今の世界に対して普遍的なメッセージを訴えかけました。プロテストソングとしての側面も持ち合わせるフォークの真髄です。



「ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2024 in HITACHINAKA」で、桑田と吉井は同日に出演。サザンの「勝手にシンドバッド」にサプライズ登場したのが初共演となり、1 年越しの再会を果たしました。吉井和哉のリクエストで、桑田佳祐のソロ曲「東京」を吉井が熱唱。桑田も“大好きな曲”と語る吉井和哉ソロ曲「みらいのうた」

突如上がった会場の熱気をクールダウンするように、サザンオールスターズの「SEA SIDE WOMAN BLUES」を桑田がゆったりと歌い上げると、その余韻を残したまま、次なるシークレットゲストが呼び込まれました。日本のフォークデュオ・バズが 1972 年に発表した楽曲「ケンとメリー～愛と風のように～」のイントロに乗せて、なんと Mr.Children【桜井和寿】が登場！大歓声と共に会場が驚きどよめく中、そのまま桑田佳祐とのデュエットになだれ込みます。桑田と桜井の共演は、2006 年の“THE 夢人島 Fes.”以来なんと 19 年ぶり。桑田率いるバンドの演奏で Mr.Children の名曲「HANABI」を熱唱し、桜井が

桑田とバンドだけで歌う場面と、シークレットゲストと共に歌う場面が交差していく構成であることが見えてきた中、尊敬する大先輩・加山雄三の「夜空の星」を終え、3 組目に登場したシークレットゲストは、桑田の公私の戦友であるサザンオールスターズ【原 由子】。普段はピアノを担当している原ですが、元はと言えば学生時代にエリック・クラプトンに憧れてギターを始め、吉田拓郎を敬愛しアコギを片手に“ジェロニモ”というフォーク・デュオをやっていた程のフォーク女子。この日はアコースティックギターを肩に下げ、桑田とともに自身のソロ曲「いちよう並木のセレナーデ」、そして 2025 年現在も CM で起用されてお

拍手喝采で原 由子が舞台を後にすると、桑田佳祐が美輪明宏の「ヨイトマケの唄」を歌い始めます。自身のライブで度々好んで歌唱する曲ですが、一部民放局では放送禁止楽曲とされていた時期も。労働者を歌うこの曲はまさに大衆歌。会場が感動に包まれ温かいムードになる中、一風変わってロックな演奏がスタート。THE YELLOW MONKEY「太陽が燃えている」です。イントロに乗せて登場したのは、【吉井和哉】。まさか桑田率いるミュージシャンの演奏で、この曲が聴ける日が来るとは誰も想像していなかったでしょう。2024 年のサザン最後の夏フェス出演

2025 年 10 月 12 日

を逆リクエスト。日本のトップ・アーティスト同士がリスペクトを持って共演する舞台が実現しました。



その後、昭和の雰囲気醸す SE の中、再び桜井和寿が登場し、ザ・フォーク・クルセダーズの「悲しくてやりきれない」を桑田と歌唱。さらにそこに吉井和哉を呼び込み 3 人で北山修・加藤和彦の名曲「あの素晴らしい愛をもう一度」を歌うあの場面、あいみょんと桑田佳祐で歌う「なごり雪」と、昭和を代表するフォークソングの名曲を令和現在のトップアーティストが歌う時間は、どれもあまりにもエポックな瞬間です。



そして最後の最後に、まさかの超豪華シークレットゲストが登場。耳馴染みのあるイントロに乗せて登場したのは、なんと【竹内まりや】。最後の最後にとびきりのゲストが登場し、会場のボルテージは最高潮に。「元気を出して」を歌唱し、続けてザ・ビートルズの「Two Of Us」を桑田とデュエット。さらにはサザンオールスターズの「涙のキス」では竹内まりやがボーカルをとり、最後の曲では、原 由子までも登場。プライベートでも親交のある桑田と原がレコーディングでコーラスとして参加し、2014 年に発表された「静かな伝説(レジェンド)」を、楽曲が生まれて以来初めて 3 人で歌

唱し本編は終了。語り尽くせないほどの極上のひと時が流れました。

鳴り止まない拍手に応えるように、アンコールが始まると、まさかの桑田佳祐、あいみょん、桜井和寿、竹内まりや、原 由子、吉井和哉(五十音順)の全ゲストが登場！「軽音楽サークルでは、必ずシングアウトをいっしょにする通例になってます。シングアウト！」と、フォークの原点とも言えるママス & パパスの「California Dreaming (夢のカリフォルニア)」を全員で熱唱し、「今日の日はさようなら」を観客も含めて会場全体で合唱。夢のようなひと時は、あっという間に過ぎ、ゲストの 5 人が舞台を去ると、イベントの発案者である桑田佳祐が自身のソロナンバー「祭りのあと」を披露し、合計 29 曲、約 3 時間におよんだ奇跡のイベントの幕を下ろしました。

“フォーク・ソング(大衆音楽)”への愛とリスペクトを込めたイベントとして開催された「九段下フォーク・フェスティバル'25」。その言葉通り、今のシーンで活躍する現役のアーティストたちからの先達への愛、そしてお互いへのリスペクトに溢れた、特別な一夜でした。

●本日のイベントセットリストが公式プレイリストとして公開!!

『TOKYO FM 開局 55 周年×「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送 30 周年 九段下フォーク・フェスティバル'25』で披露された楽曲をまとめた、ストリーミングサービスで楽しめる公式セットリストプレイリストが公開！

<https://lnk.to/kudanshitafolkfes25>

※カメラマンクレジット 西槇太一

2025 年 10 月 12 日

【イベント概要】

■タイトル:

TOKYO FM 開局55周年×「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送30周年 九段下フォーク・フェスティバル'25

■開催日時 : 2025年10月12日(日) 17時 開場 18時 開演

■会 場 : 日本武道館 (東京都千代田区北の丸公園2番3号)

■チケット価格: 13,000円 (税込)

■出演者 : 桑田佳祐

シークレットゲスト(五十音順): あいみょん、桜井和寿 (Mr.Children)、竹内まりや、原 由子、吉井和哉 (THE YELLOW MONKEY) ※前座: 田内洵也

■特設サイト : <https://www.tfm.co.jp/kudanshitafolkfes25>

■主催 : TOKYO FM/キョードー横浜

企画・制作 : TOKYO FM/アミューズ

協力 : ビクターエンタテインメント

制作協力 : ハンズオン・エンタテインメント

協賛 : カンロ/日清オイリオグループ/サントリー食品インターナショナル/キヤノンマーケティングジャパン/アイエ務店

【特別番組概要】

■タイトル: 「FM FESTIVEL 2025 桑田佳祐スペシャル企画!! 九段下フォーク・フェスティバル'25」

■放送日時: 11 月 3 日(月・祝)16 時~19 時

■放送局: TOKYO FMをはじめとする JFN 全国 38 局

《レギュラー番組概要》

■タイトル: 「桑田佳祐のやさしい夜遊び」

■放送時間: 毎週土曜 23:00~23:55

■放送局: TOKYO FMをはじめとする JFN 全国 38 局ネット

■パーソナリティ: 桑田佳祐

■番組 HP: <https://www.tfm.co.jp/yoasobi>

